

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/71名 出席/48名 出席率/67.61%

メークアップ/23名 修正/71名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



本日のお客様は普門院(文知摺観音)住職 横山 俊邦 様です。スピーチをお願いしてありますので宜しくお願いします。横山様は市会議員・市議会議長を歴任され、2005年11月13日当時の瀬戸市長に対抗して市長選に出馬されましたが惜しくも敗退、政治活動から身を引かれ現在は普門院住職としてのお勤めのほか、社会福祉法人の理事長として活躍されております。まさに波乱万丈の人生、スピーチを楽しみにしております。

次に、本日 小坂 和也 会員の紹介でオブザーバー参加されている、タニコ株式会社 福島営業所 所長 石坂 一也 様、有限会社 大野建築設計事務所 代表取締役社長 河野 忠 様です。ロータリーの例会を楽しんでお帰りができれば幸いです。

今週の20日土曜日は郡山地区職業奉仕セミナーが開催されます。安齋紀之職業奉仕委員長・高橋正一職業奉仕副委員長と私の3名が参加することになっております。原田義之タイ・チェンライRCパスト会長のお話を楽しみに行ってきます。21日の日曜日には第一分區親善ゴルフ大会がパーシモンカントリークラブで開催されます。当クラブより6名の精鋭が参加しますので是非優勝を勝ち取ってください。また本日若手会員有志の勉強会が石林で開催されます。ロータリー活動を勉強し、大いに親睦を深めて下さい。

会長エレクト研修セミナー参加報告 鈴木 光一 会長エレクト



去る3月16日(土)17日(日)二日間にわたり2530地区の会長エレクトセミナー『PETS』が福島中央RCホストによって飯坂の摺上亭大鳥にて開催されました。

平井ガバナー開会点鐘の後、次年度のマーク・ダニエル・マローニーRI会長のテーマ『ロータリーは世界をつなぐ』に基づき研修セミナーに入り、第1セッションでは芳賀ガバナーエレクトより RI テーマと地区目標について公演頂きました。

休憩を挟んで第2セッションでは阿久津 肇 地区運営管理委員長から地区管理と運営について、鈴木 邦典パストガバナーからはクラブ管理と会長の責務について、及び地区研修の方針と計画や規則手続きなど。またセッションの中で会員増強拡大・ロータリー情報委員会が次年度委員長であります当クラブの林 克重 委員長から会員の純増5%・会員維持率についてなど会員増強はロータリーの一より大きな変化をもたらす欠かせない要素ですと熱く語って頂き大変勉強になりました。第3セッションは分科会と委員長会議とそれぞれ分かれて討議が行われました。夕方からは凧の間に和やかに懇親会が開催されました。

2日目は午前9時から財団地区コーディネーターの池田様よりロータリー財団について説明がございました。

第4セッションでは公共イメージIT委員会・国際奉仕委員会・社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会からは当クラブの廣澤 俊樹 委員長よりインターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換について分かりやすい説明をいただきありがとうございました。

午後からはロータリー財団旧認証バナーと感謝状の贈呈、学友平和フェローション委員会、米山記念奨学会などの説明がありました。少しはございますがロータリーについて二日間学んでまいりましたが、次年度も本年同様皆様より暖かいご支援をいただき進んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。簡単ではございますが報告とさせていただきます。

ゲストスピーチ 普門院(安洞院東堂)住職 横山 俊邦 様

信達三十三観音は400年以上の歴史を持っております。今で言うところ福島市それから伊達市伊達郡とその西一帯にまたがるところに三十三の観音霊場が作られました。

45年位前の頃までは、春先になると色々な観音参りの方がお出でになって、観音様の前で御詠歌を唱えたりしながら春の風物詩として観音参りが行われておりましたが、ここ数年は殆どお参りする人が居なくなってしまうようになりました。受け入れ体制も崩壊してしまっており、別当住職が居ない観音堂も出て来ており、せっかく観音様にお参りしても御朱印が頂けないところも出てきております。



現状のままですと霊場自体が無くなってしまおうと言うことで、様々な宗派の各住職にお集まり頂いて、信達三十三観音霊場会を去年作り、皆さんと一緒に観音参りをさせて頂きました。

観音様とは妙法蓮華経観世音菩薩普門品という、法華経二十八本の中の第二十五番目のお経になりますが、そこに観音様の菩薩さんを説いたお経が出てきます。

最初の仏師は苦勞したと思います、観音経を読んでイメージが浮かばないと彫れない、慈悲のシンボルである観音様のイメージを頭の中で描いて、色々な事を仏師が模索しながら作ってきたのが仏像の始まりです。その初期の仏像がインドに今でも若干残されておりますが、実際はイスラム教がインドに入って来た時に、偶像崇拜は認めないと言う事で殆ど壊されてしまい、原型をとどめないような仏像がたくさん残されております。

観音経の中の所依經典 妙法蓮華経 観世音菩薩普門品 第二十五に観音様とはこのような菩薩だという事が書いてあります。

観音様の行動の原点は慈悲だということです。慈悲というのは慈しむということと悲しむということですが、具体的に言うと、抜苦与楽の請願と言います。苦を抜いて楽を与えてくれるのが観音様の請願です。観音様は終生に渡って人を助けていくということです、それが慈悲の精神ということです。観音様は矢に苦しむ人が居たら無条件で抜く。抜いた結果死んだとしても、矢が入ったままならこの苦しみは死ぬまで続くだろう。これが抜苦の苦を抜いてあげるといふことの一つの精神の行動の表れです。それからその次に与楽と言って楽しみ・楽を与えてくれる。この2面があると人間はどんな人でも立ち直ると言う事です。

他の幸福が自己の幸福に変わってくる、他無しに自己の幸福はありえないというのが観世音菩薩の精神です。ですからロータリーの思想と共通性があると思います。自分が豪華な生活をしてそれで幸せで本当に良いのだろうか、身の周りに不幸な人がいると、何かお手伝いできることがあるのだろうか?一人でやると破綻になる、けれどこのように団体で同志の人が集まると同志の異人力によって実線になって繋がって行くのです。それが観音様の一つの菩薩の思想ということなのですね。

そして33という数ですが、自身変化と言う事です。33になぜ身を分ける必要があるかと言うと、世の中を自分の立ち位置を中心に考えてみて東西南北にまず四つに割る。東の方、西の方、南の方、北の方、さらにそれを四つに割ると八つに割れる。南西北東という風に分ける。さあこの空間を八つに割ったらそれで事足りるかと言うと、足りないのです。じゃあ上と下の空間はどうするのかとなる、上と下も空をしましよとなり。これが仏教でいう十方世界と言う事になります。上の世界、下の世界、東西南北、八つの世界。この地上の空間を八つに分けてそこに観音様一つずつ配置すればどこに行っても救ってもらえる。そうなるとお前の立っている所は何処?と言うことになる。

西でもなく東でもない真ん中じゃないか。お前の分も中心点として考えないと駄目じゃないか?となり、自分の立っている場所一箇所を足すと11になる。11の世界に観音様がいらしてもらえれば私たちがどこに行っても救ってもらえるという考え方になるのです。

ところが人間とは欲張りですね、過ぎ去った故人の冥福はどこで祈るか?となると中々祈っても届かない。それでは過去の世界に11の世界を作る事になる。すると未来にも11が有ったら良いなあとなり、そうすると過去・現在・未来に11の観音様をお祀りするところ三十三観音になる。これは時間空間を超えて無限に何処にでも観音様が来て来ると言う思想です。

小倉寺の観音様の千手観音は千手観音の上に乗っている顔が十一面観音です。この仏像は11の世界をいっぺんに救うことができると考え作られたのです。

それから十九説法ですが、これは観音経の中に出てくる三十三身十九説法と言い、三十三に観音様は身を分けて、十九の説法をすると言う事です。その十九の説法の中身とはその人の器量に合わせて説教しないと駄目だと言う事です。生きるとはどういう事かという投げ掛けがそのお通夜の説法の根幹なのです。通夜の説教は十九説法の対機説法で、相手によって内容を変えていくということなのです。

最後にお釈迦さんのラストメッセージですが、あなたが34番目の観音様にならなければ三十三の観音様は無意味という事です。会社の経営でも大変なこともあると思います。何でこんなに苦しい思いをしなくてはならないかと言うと、この世は修行道場と言う事に気付いてないのです。皆さんが毎日歩んでいる道こそが実は修行なのです。この世は極楽ではないと言う事です。苦しい事だけの集まりなのです。幸福感というのは主観的なものです。全部自分が決めているのです、俺は恵まれない男だかと思いますが、しかし『月は東に日は西に』や『月は黒雲を出でて光更に新たなり』の様に、物の見方を180°変えれば、幸せは自分の心が作り出していると言う事に気付ける訳です。

観音様の霊場を皆さんでお参りしたいという場合は、お電話一本いただければ是非ご案内させていただきます。



— 今後のプログラム —

- ・5月15日(水)休会
- ・5月22日(水)クラブ協議会(各委員会報告①)
- ・5月29日(水)クラブ協議会(各委員会報告②)

— 地区情報・第一分區・関連情報 —

- ・5月18日(土)地区研修・協議会
- ・5月24日(金)ローターアクト地区大会
- ・5月26日(日)福島南RCゴルフコンペ(民報コース)

— 5月8日(水)の例会プログラム —

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 開会点鐘 | 9. 福島南RCゴルフコンペ報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 10. 職業奉仕セミナー報告 |
| 3. ロータリーソング | 11. 米山奨学生奨学金授与 |
| 4. 四つテスト唱和 | 12. 米山奨学生お礼挨拶 |
| 5. 来訪者紹介と会長挨拶 | 13. 米山奨学生スピーチ |
| 6. ロータリーの友読みどころ | 14. 会員スピーチ(吾妻学 会員) |
| 7. 誕生祝 | 15. 各委員会報告 |
| 8. スマイリングBOX報告 | 16. 閉会点鐘 |